

さらぽれのサポート体制と地域とのつながり

安定した就労は、安定した通所から

健康、生活、家族・友人関係などに問題が起こったときに
対処できる、相談できることがベースになります。

■ 生活面のサポート

- ・ 自治体の生活相談窓口やケースワーカーとの連携
- ・ 家族の健康や経済状態など本人では解決が難しい問題の相談
- ・ 障害者手帳の取得、生活保護申請など

■ 健康面のサポート

- ・ 利用中に、健康をセルフコントロールできるようになるような支援
- ・ 医療機関の通院同行や電話での相談
- ・ 主治医、家族、ケースワーカー、保健師、相談支援機関、本人でのケース会議

近隣の支援機関と連携を図りながら、
地域につなぐ支援を行います

働く生活の支援

就労後の様々な生活の変化や困りごとに対処するために、訓練中から地域の支援機関と繋がりをつくっておきます。

- 日常生活の管理
- 転居や家族の変化
- 休日の過ごし方
- 友人関係 etc

身近な相談窓口を活用するのが本人にとって利便性が高いため、居住地域のケースワーカーや生活支援センター、相談支援事業所の担当者と就労前から本人との関係づくりに努めます。

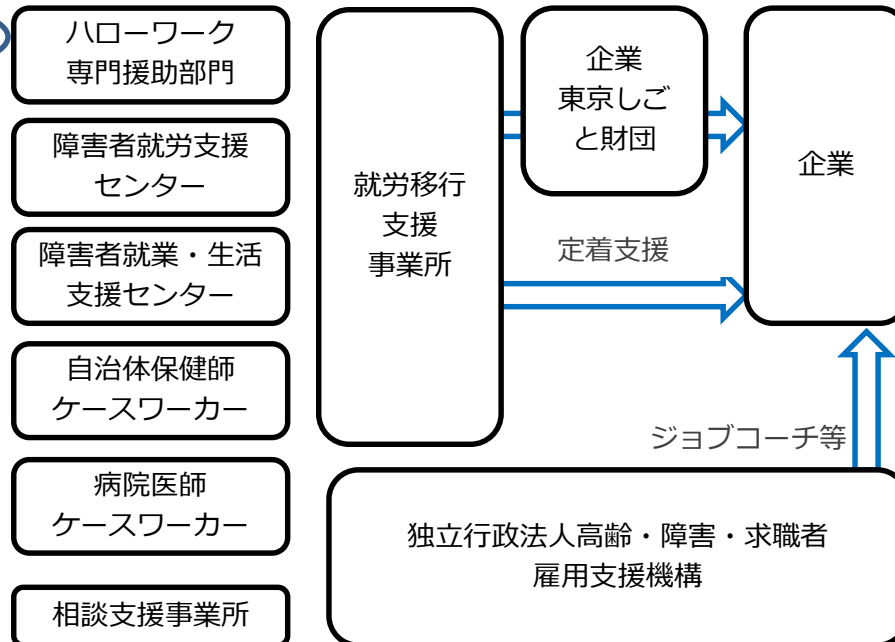


相談支援窓口

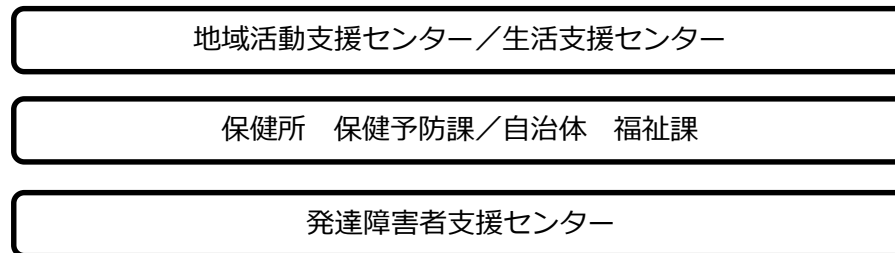
訓練

実習

就労



生活相談



医療関連

